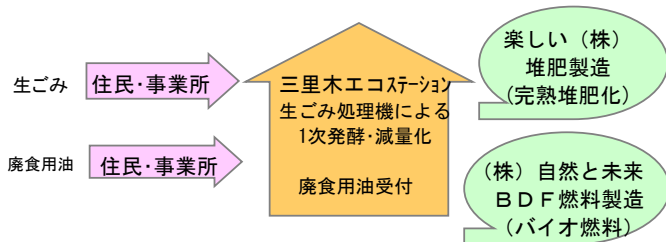




発行者 **楽しい株式会社**  
 住所 北九州市若松区向洋町10番1  
 北九州エコタウン実証研究エリア内  
 ハチドリ通心(信) Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303  
 2014年3月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

さんりぎ  
**熊本県菊陽町三里木商工繁栄会の取組報告**  
 ～生ごみと廃食用油のリサイクル事業～

熊本県菊陽町は熊本市の北東部に位置し、三里木は県道337号線(旧国道57号線)、JR豊肥線に沿った商店街です。1月末までの約5カ月間、三里木駅前公園内に「三里木エコステーション」を設置して地域住民の皆様からモニターを募り、生ごみ、廃食用油を持込んでリサイクルを行い、廃棄物・CO<sub>2</sub>・コスト削減に繋げていく取組が行われました。「全国商店街振興組合連合会平成25年度地域商店街活性化事業」事業主体：菊陽町三里木商工繁栄会



持ち込まれた生ごみ量と削減されたCO<sub>2</sub>量をステーションに掲示をし、見える化を行いました。さらに、生ごみ、廃食用油1回持ち込みにつき1ポイント(20円相当)を付与し、15ポイントで300円分の三里木商工繁栄会商品券と交換できる仕組みとしました。



三里木駅前「エコステーション」



ゲンコツ  
減CO<sub>2</sub>ボード

<事業の実施で活躍したハチドリ>



- ◆三里木地区参加住民、事業者モニター(103)
- ◆三里木商工繁栄会(事業運営・管理、商品券発行)
- ◆熊本県商工振興金融課
- ◆熊本県立大学(調査及び分析)
- ◆熊本県商店街振興組合連合会(指導、監督)
- ◆株式会社自然と未来(廃食用油回収、BDFの製造、販売)
- ◆楽しい株式会社(機器の提供、堆肥原料の受入、堆肥化)

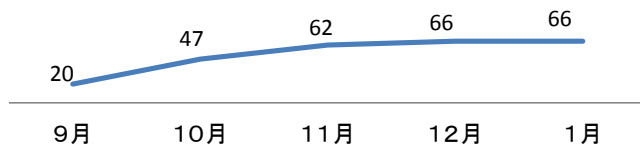
**結果概要**

平成25年9月1日から平成26年1月17日までの約5ヶ月間にわたり、町民の96世帯の方と、7の事業所に参加していただきました。

◆生ごみ：

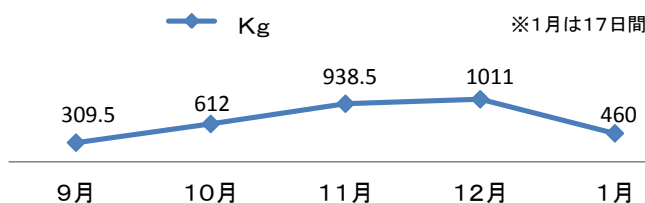
・延べ持ち込み世帯 261世帯

**利用世帯の推移**



・持ち込まれた生ごみ量 3,331 kg  
 (家庭 2,549.5kg/ 飲食店 781.5kg)

**月別生ごみ総量**



・削減されたCO<sub>2</sub>量 107.3kg-CO<sub>2</sub>  
 (LCA手法を用いて、従来の収集・運搬・焼却処理と比較した場合のCO<sub>2</sub>削減量)

・経費削減額 106,592円  
 (焼却費¥32.0/kgとした場合の削減額)

◆廃食用油：

・持ち込まれた廃食用油量 約120L  
 ・製造されたBDF量(バイオディーゼル燃料)約108L  
 ・BDFの使用用途；B5燃料(5%混合)として車で使用

◆商品券：

発行枚数 43枚  
 期間中の使用枚数 28枚

ハチドリ(モニター)からの声

- ・出すごみが少なくなった。
- ・ごみの分別は難しいと思っていたが、分別するようになった。
- ・家族でもECO(分別について等)の話をするようになった。
- ・商品券の使用できる商店が判らない。※使用可能店のMAP作成済

☆総評☆

- (1)事業後半になって1人当たりのごみ量よりも、頻度や利用人数が増えたためにごみ総量もふえた。モニター住民に定着し、リピーターが増えていった。
- (2)「三里木エコステーション」開所初期は「環境問題に興味はあるが、ごみの分別は難しい」などの意見などのマイナス意見が見られた。しかし、中期、後期では、「エコ意識がよくなった」などのエコに対する参加住民の意識の変化があった。
- (3)「三里木エコステーション」の開始当初、説明不十分な点があったために「三里木エコステーション」のイメージが地域に普及しておらず、その結果 事業が地域に定着するまでに時間がかかった。  
利用してもらえば良さは分かってもらえるので一度利用してもらうための工夫が必要である。
- (4)事業そのものはモニター住民からの評価は高くなっており、積極的に利用する人や協力的な人も多く、継続して欲しいとの要望も強い。(熊本県立大学総合管理部津曲研究室)

\*ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。  
 URL : [www.fun-c.jp/](http://www.fun-c.jp/) をご覧ください。(川部が担当しました。)